

血液内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] KIRリガンド不適合が移植成績に及ぼす影響の検討

[研究機関] 北海道大学病院 血液内科

[研究責任者] 田中 淳司 （血液内科・准教授）

[研究の目的] NK細胞受容体に対するリガンドである一部の白血球抗原HLAはKIR(Killer cell immunoglobulin-like receptor) リガンドとも呼ばれます。同種造血幹細胞移植において患者さんとドナーさんのKIRリガンドに不適合が存在することが移植成績に影響を及ぼす可能性があると言われてはいますが、はっきりとしたことはわかっていません。そこで本研究においては、我が国におけるKIRリガンド不適合移植成績の現状を正確に把握し、どのような条件下であればKIRリガンド不適合移植が移植成績を向上させるかを明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

年齢を問わず1993年1月から2009年12月までに同種造血幹細胞移植を受けた方。

●利用するカルテ情報

造血細胞移植学会一元化登録事業データ(KIRリガンドのGVHD方向、HVG方向の適合症例と不適合症例における急性GVHD発症率と重症度、慢性GVHD発症率と重症度、生着不全、生存率、再発および非再発死亡率などを比較検討する。また前処置別解析(骨髄破壊の前処置、骨髄非破壊の前処置、ATG使用の有無など)、幹細胞別解析(血縁骨髄、血縁末梢血幹細胞、非血縁骨髄、非血縁臍帯血)、疾患別解析(急性骨髄性白血病 AML, 急性リンパ性白血病 ALL, 慢性骨髄性白血病 CML, 骨髄異形成症候群 MDS, 再生不良性貧血 AA, 多発性骨髄腫 MM, 悪性リンパ腫など)について集計する。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 血液内科 担当医師 田中 淳司

電話 011-706-7214 FAX 011-706-7823